

1 学年 小单元名 第5学年 低い土地のくらし 新編 新しい社会5上 東京書籍

2 小单元の位置

单元名	時数	小单元名	学習指導要領の内容
1.わたしたちの国土 (20時間)	①	導入(オリエンテーション)	(1)
	④	1 世界の中の国土	(1)ア-(ア)(ウ),イ-(ア)
	③	2 国土の地形の特色	(1)ア-(イ)(ウ),イ-(ア)
	⑤	3 低い土地のくらし/高い土地のくらし(選択)	(1)ア-(イ)(ウ),イ-(ア)
	③	4 国土の気候の特色	(1)ア-(イ)(ウ),イ-(ア)
	④	5 あたたかい土地のくらし/寒い土地のくらし(選択)	(1)ア-(イ)(ウ),イ-(ア)

3 小单元の目標

我が国の国土の様子について、国土の地形に着目して、地図帳や地球儀、各種の資料で調べ、まとめることで低い土地の自然などの様子や低い土地の人々の生活を捉え、国土の自然環境の特色やそれらと国民生活との関連を考え、表現することを通して、我が国の国土の地形の概要や、人々は自然環境に適応して生活していることを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究・解決しようとする態度を養う。

4 小单元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・国土の地形などについて地図帳や地球儀、各種の資料で調べて、必要な情報を集め、読み取り、国土の自然などの様子や低い土地の人々の生活を理解している。 ・調べたことを図表や文などにまとめ、低い土地の人々が自然環境に適応して生活していることを理解している。	・国土の地形などに着目して、問いを見だし、国土の自然などの様子や低い土地の人々の生活について考え表現している。 ・我が国の位置や地形の側面から、我が国の国土の自然環境の特色を考えたり、低い土地の自然条件と人々の生活や産業を関連付けて考えたりし、適切に表現している。	・低い土地のくらしについて、予想や学習計画を立てたり、学習をふり返ったりして、学習問題を追究し、解決しようとしている。

5 小单元の指導と評価の計画

●「指導に生かす評価」 ○「記録に残す評価」

時	目標(◆) 主な学習活動(①、②…)	□資料	指導上の主な留意事項 I C T の 活 用	評価		
				知 技	思 判 表	態 度
1	◆海津市の地形などに着目し、問いを見だし、海津市の人々のくらしや産業について、予想や学習計画を立て、学習問題を解決する見通しをもつことができるようにする。					
	① 海津市の航空写真を見て、土地の様子を話し合う。 ② 土地の高さの地図の0mよりも低いところに色をぬって海津市の土地の高さを調べる。 ③ 学習問題をつくる。 【学習問題】調査員になって、大きな川に囲まれた海津市に住む人々のくらしや産業のくふうを調査レポートにまとめよう。 ④ 学習問題を解決する見通しをもつ。 <問い> ・人々は水害からくらしをどう守ってきたのか。 ・豊かな水をどうやって農業に生かしているか。 ・豊かな水をどうやって生活に生かしているか。 <予想> ・各問いに対する予想を立てる。 <調べ方> ・立てた予想について、教科書や教科書以外の資料で調べる。(検索エンジン、市のホームページ、NHK for school、地図帳など) <まとめ方> ・各問いに対する答えを、立てた予想を検証しながらノートにまとめる。 ・単元末に、調査レポート(プレゼンテーション)にまとめる。	□ 岐阜県と海津市の位置を示す日本地図 □ 三つの川が集まる地域 □ 堤防とまちの様子 □ 堤防と近くの土地の様子 □ 海津市で行われるボートの大会 □ 三つの川が集まる地域の土地の高さ □ 学習計画ワークシート	①… 大きな川に囲まれていること、田が多いことなど、自然環境やくらしに関わる視点で話し合うようにする。 ②… 土地の高さの地図の0mよりも低いところに色をぬることで、海津市が低い土地にあることを実感できるようにする。 ④… 4年生「自然災害からくらしを守る」を想起したり、海津市は農業がさかんであることを伝えたりしながら、追究することを決めていくようにする。 ・②の活動後、NHK for school「輪中～低い土地のくらし 岐阜県海津市～」を児童が各端末で視聴することで、海津市が海拔ゼロメートル地帯であることが視覚的にとらえられるようにする。 ・単元で使用する資料や学習計画(単元の目標、評価規準、評価時期等)は、共有フォルダにアップして、児童がいつでも閲覧できるようにしておくことで、それぞれの課題意識や予想に応じた追究活動ができるようにする。			● ○

時	目標(◆) 主な学習活動(①、②…)	□資料	指導上の主な留意事項 I C T の 活 用	評価		
				知 技	思 判 表	態 度
2 水害とたたかっていた人々	◆必要な情報を集め、読み取り、海津市の洪水の被害が少なくなってきたことや現在も水害への意識をもって訓練をしていることについて理解できるようにする。					
	① 資料1と資料2、p.22の航空写真を比べて、昔は川の流れが入り組んでいたことから、本時追究することを確認し、調べる。 ・川がまっすぐになり、輪中がまとまった経緯 ・洪水で家が危ないときの避難の工夫 ・治水工事による大きな水害発生件数の変化 ・今でも水害の防止に努めるための取組 ……など ② 必要に応じて交流する。 ③ 本時のまとめをする。	<input type="checkbox"/> 千本松原 <input type="checkbox"/> デレーケの治水工事前の川の流れ <input type="checkbox"/> デレーケの像 <input type="checkbox"/> 水屋(復元)と内部の様子 <input type="checkbox"/> 大きな水害の発生件数の移り変わり <input type="checkbox"/> 水防演習の様子 <input type="checkbox"/> 大型の排水機場と排水のしくみ	①… 追究することを、「いつ・どこで・だれが・何を・どのように」の視点で調べるようにする。追究方法は、教科書、資料集、インターネット等、様々な方法でよいことを伝える。迷っている児童には、教科書から調べていくとよいことを助言する。交流の必要性を確認し、ペア、グループ、全体 ②… 交流を行う。 学んだことや学び方を振り返ることができるよ ③… うにする。	●		
3 豊かな水を生かした農業	◆必要な情報を集め、読み取り、海津市では、水害の減少と共に、豊かな水を農業に生かしていることについて理解できるようにする。					
	① 資料1を見たり、資料2と3を見比べたりし、昔は豊かな水がある反面、農作業が行いにくかったことから、本時追究することを確認し、調べる。 ・田が整えられた経緯 ・上流からきた土の活用方法 ・排水と揚水の工夫と効果 ・現在海津市で作っている野菜 ……など ② 必要に応じて交流する。 ③ 本時のまとめをする。	<input type="checkbox"/> 昔の田植えの様子とかり取った稲を運ぶ船 <input type="checkbox"/> うめ立て前の水田の様子 <input type="checkbox"/> うめ立て工事が終わった後の水田の様子 <input type="checkbox"/> 海津市の主な農産物の作付面積 <input type="checkbox"/> ビニールハウスでのきゅうりさいばい <input type="checkbox"/> 海津市の用水路と排水路	①… 前時の学び方を振り返り、本時の学習に生かすよう助言する。 ③… 本時分かったことを記入するとともに、本時の学び方は前時と比べてどうだったかも振り返るようにする。	●		
4 水を生かした生活	◆必要な情報を集め、読み取り、海津市では豊かな水をどのように生活に生かしているのかについて理解できるようにする。					
	① 資料1～6の中から、調べてみたい場所や施設を追究することを決め、調べる。 例) 木曾三川公園 ・いつできたか ・公園の規模 ・利用客数 ・公園の特徴 ・水とのかわり ……など ② 自分の調べていない場所や施設について知る。 ③ 本時のまとめをする。	<input type="checkbox"/> 木曾三川公園 <input type="checkbox"/> 長良川でのカヌー教室 <input type="checkbox"/> 川魚を使った料理 <input type="checkbox"/> 毎年冬に行われる寒ぶな漁 <input type="checkbox"/> 海津市をおとずれた観光客数 <input type="checkbox"/> 水辺の自然を生かした施設	①… 追究することを、「いつ・どこで・だれが・何を・どのように」の視点で調べるようにする。 ①では、教P29にある「まなび方コーナー」をもとに、キーワード検索の仕方や、より確かな情報の集め方などをおさえることで、一人一人が自分が詳しく知りたいことについての調べ学習が進むようにする。また、調べたことを全体交流で伝え合うことをあらかじめ共通理解しておくことで、仲間に伝えるための情報を集める必要感が生まれるようにする。	●		

時	目標(◆) 主な学習活動(①、②…)	□資料	指導上の主な留意事項 I C T の 活 用	評価		
				知 技	思 判 表	態 度
5 単 元 の ま と め	◆調べたことをまとめて、低い土地の人々が自然環境に適応して生活していることについて理解できるようにすると共に、低い土地の自然条件と人々の生活や産業を関連付けて考え、適切に表現できるようにする。 ① 単元を通して学習したことを調査レポート(タブレット端末のプレゼンテーションソフト)にまとめる。 ② 仲間と交流して学んだことを生かし、自分のまとめを再考して完成する。	□ 調査レポートの枠(プレゼンテーションソフト)	①…「堤防」「治水」「パイプライン」「河川じき」のキーワードを必ず使ってプレゼンテーションソフトにまとめるようにする。 ②…作成できた児童から、提出BOXに提出し、仲間同士で表現方法についてコメントし合うようにする。	○	○	●

<調査レポートの例>

調べてわかったこと 輪中に住む人々は、水害から暮らしをどのように守ってきたのでしょうか。

デレーケの治水工事前の川の流れ 【教科書p.26②】

デレーケの像 【教科書p.26③】

デレーケの治水工事後の川の流れ 【教科書p.22①】

○川の流れを変え、高い堤防をつくるなど治水工事をくりかえし、水害の少ない土地にした。
○今も水害に備えて、水防演習をしている。

調べてわかったこと 輪中に住む人々は、豊かな水をどのように農業に生かしているのでしょうか。

ビニールハウスでのきゅうりのさいばい 【教科書p.29⑦】

海津市の用水路と排水路 【教科書p.29⑥】

大型の排水機場と排水のしくみ 【教科書p.27⑦】

海津市の主な農作物の作付面積 【教科書p.27⑥】

○排水だけでなく、揚水機場とパイプラインができて、必要ときに必要な量の水が使えるようになった。
○輪中の水はけがよくなったので、米だけでなく、野菜や果物なども生産されるようになった。

調べてわかったこと 海津市の人々は、豊かな水をどのように生活に生かしているのでしょうか。

木曾三川公園 【教科書p.30①】

水辺の自然を生かした施設 【教科書p.30⑥】

川魚を使った料理 【教科書p.30③】

毎年冬に行われる寒ぶな漁 【教科書p.30⑧】

長良川のカヌー教室 【教科書p.30②】

海津市をおとずれた観光客数 【教科書p.30⑤】

○木曾川、長良川、揖斐川や河川じきの自然を生かした施設をつくり、レクリエーションを楽しめるようにしている。
○輪中内の池や川をヨットの練習場やつりの施設に利用している。川魚を使った料理や観光などに力を入れている。

考えたこと

「大きな川に囲まれた海津市に住む人々は、くらしや産業をどのように工夫しているか。」に対する自分の考えを、次のキーワードを使ってまとめよう。

<キーワード>

大規模な工事 豊かな水 低地の自然環境

<まとめ>

大きな川に囲まれた海津市に住む人々は、明治時代に川の大規模な工事を行い、水害から暮らしを守ってきた。豊かな水を生かした輪中ならではの農業や、季節ごとの楽しみを生かした観光などを通して、低地の自然環境を生かしたくらしをしている。

【備 考】

- 課題に対する予想の交流は、適宜行うこととする。また、どの時間においても、児童が自分に合った学び方を選択できるようにする。
- ・ 自分の立てた予想が合っているかを確かめるために、教科書、資料集、共有フォルダにある資料、インターネット等を活用して調べる。
- ・ 一人で調べることが難しいと感じた場合には、仲間や教師に聞きに行くようにする。
- ・ 追究時間は学級で合意のうえ決める。必要であれば児童が追加を求めるようにする。
- 全体交流には、次のような目的をもたせて行う。
- ・ 自分が調べていないことを仲間から聞きたい、仲間の考えを知りたい、仲間に自分の考えを伝えてコメントがほしい、…など
- 本単元は、「わたしたちの国土」の小単元であり、最終的な評価は、各小単元の「記録に残す評価」を総合したもので行う。